【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年11月13日
【会社名】	ヤマハ株式会社
【英訳名】	YAMAHA CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表執行役社長　山 浦　敦
【本店の所在の場所】	浜松市中央区中沢町10番1号
【電話番号】	053(460)2156
【事務連絡者氏名】	経営管理部長　谷 口　如 注
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市西区みなとみらい5丁目1番2号 横浜シンフォステージ　ウエストタワー ヤマハ株式会社　首都圏事業所
【電話番号】	050(3148)1414
【事務連絡者氏名】	首都圏事業所担当主幹　中 冨　敬 夫
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は、Disguise Technologies Limited（英国ロンドン、以下「Disguise社」）の発行済株式の全株式を間接的に保有する特別目的会社であるButterfly Topco Limitedの全株式を取得（以下「本件株式取得」）することを決定しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第8号の2の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

(1)	商号	Butterfly Topco Limited
(2)	本店の所在地	Hermes House 88-89 Blackfriars Rd, South Bank, London, United Kingdom
(3)	代表者の氏名	取締役　Fernando Kufer
(4)	資本金の額	11,327英ポンド
(5)	純資産の額	△160,214千英ポンド（2025年12月期）
(6)	総資産の額	56,396千英ポンド（2025年12月期）
(7)	事業内容	イベント演出の設計・制御に用いられるソフトウェアおよびメディアサーバーを提供するDisguise社を中核とする企業グループの持株会社

(2) 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益（英国会計基準）

決算期	2023年12月期	2024年12月期	2025年12月期
連結売上高	67,164千英ポンド	67,247千英ポンド	60,014千英ポンド
連結EBITDA（注）1	7,626千英ポンド	5,196千英ポンド	4,620千英ポンド
連結調整後営業利益（注）1、2	737千英ポンド	△1,151千英ポンド	△769千英ポンド
連結当期純利益	△35,456千英ポンド	△38,595千英ポンド	△36,364千英ポンド

（注）1　連結経常利益は算出していないため、連結EBITDA及び連結調整後営業利益を記載しております。
2　のれん償却費控除前の連結営業利益であります。

(3) 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	該当事項はありません。

(4) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、中期経営計画「Rebuild & Evolve」（2025年4月～2028年3月）において、「強固な事業基盤の再構築」「未来を創る挑戦」「経営基盤の強化」を戦略の柱とし、特に「未来を創る挑戦」では、既存の楽器・音響機器事業に隣接する領域や、新たな事業・市場ドメインへの展開を進め、新しい顧客体験の創出と将来の中核事業の育成を目指しています。

その取り組みの一環として、当社は、ハードウェア製品の提供に加えて、ソフトウェア・サービス領域への事業拡大を通じて、新たな体験価値の創出に取り組んでいます。中でも、ライブエンターテインメントやスポーツ等において、音響を起点に空間全体を通じた感動体験を創出する領域は、当社の強みを生かしながら事業領域を拡張できる重要な成長領域の一つと捉えています。

近年、こうしたエンターテインメント市場では、より没入感の高い体験を提供するニーズが高まっており、そのニーズに応える上で、音響・映像・照明・メディア（以下「AVLM」）を統合する技術やソリューションの重要性が増しています。

英国ロンドンに本社を置くDisguise社は、イベント演出の設計・制御の中核となるソフトウェア及びメディアサーバーを提供する企業です。同社のシステムは、映像・音響・照明等を統合し、コンテンツの事前設計から本番時の同期再生・リアルタイム制御までを一体的に実現し、世界各地のライブイベント、スポーツ施設、テーマパーク、没入型エンターテインメント施設等で採用されています。また、同社は100か国以上で製品・サービスを提供し、400社を超えるパートナーネットワークを有するなど、グローバルな事業基盤を構築しています。

本件株式取得により、当社は、Disguise社が持つAVLM統合技術、ソフトウェア、顧客・パートナーネットワークと、当社の音響技術、製品開発力およびグローバルな販売・顧客基盤を融合します。これにより、Disguise社の製品・サービスの日本・アジアをはじめとする地域での展開拡大、両社製品・サービスのクロスセル、音響と映像等をより高度に統合した製品・ソリューションの共同開発等を進めます。さらに、Disguise社の技術・事業基盤を、当社が取り組むスポーツアリーナやライブ・コンサート会場等のベニュー領域や、VOCALOIDを始めとするクリエイター・IPを活用したエンターテインメント領域等の新規事業と組み合わせることで、新たな顧客体験と収益機会の創出を目指します。

本件株式取得は、中期経営計画「Rebuild & Evolve」の期間を超えた中長期的な成長に向けた重要な戦略的買収です。今後は、Disguise社の独自性やブランド、顧客・パートナーとの関係を尊重しつつ、両社の強みを生かした事業展開を進め、音・音楽を起点に空間全体の体験価値を創出するライブエンターテインメント事業を、楽器・音響機器に続く当社の新たな事業の柱へと育成して参ります。

(5)取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

取得価額	Butterfly Topco Limited社の株式価値　215百万英ポンド（約461億円）（注）5 （注）3、4
アドバイザリー費用等（概算額）	16億円
合計（概算額）	477億円

（注）3　普通株式とShareholder Loan Notesの合計金額を指しております。

4　最終的な取得価額は、株式取得実行日に確定する見込みであります。

5　1英ポンド＝214円として換算しております。

6　上記のほか、対象子会社の銀行借入の弁済約32億円を支出する見込みです。